

Copyright 日本建築学会

大宰府
朝鮮
等
他

四下谷四〇

帝島學士院

村通村大學馬橋三二三

山下弄郎

御土研究會

御海大石地敷

長谷上幸國

...

武井...

跡見花屋

寺田栄

久保...

...

...

...

...

...

大照内明

...

...

伊島

伊島

伊島

伊島

伊島

伊島

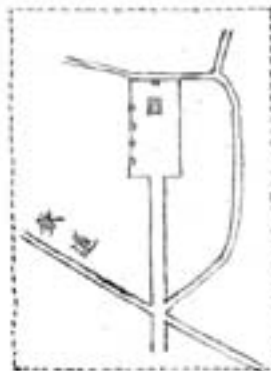
内云鳴...

...

...



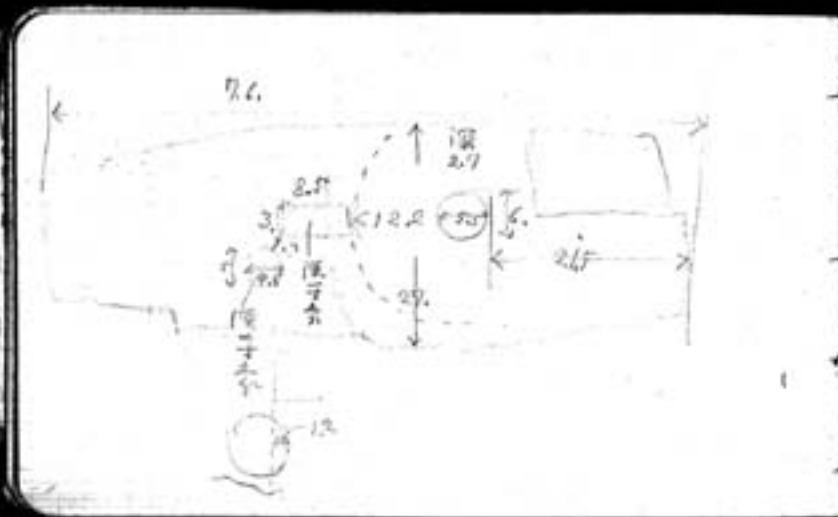




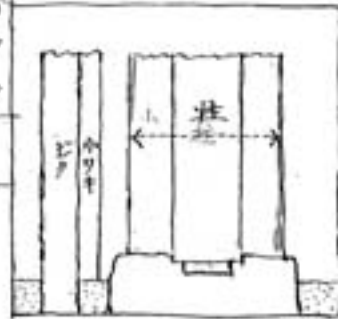
若殿^ニ置

櫻神社管公滿居之寔
 後淨妙寺ヲ建以今村法ナリ
 東ニ所ニ般若寺跡アリ
 塔ノ中心柱ノ礎石一個
 鎌倉時代ノ石ノ五重塔存ニ高六丈許





東堤	176.58
西堤	388.50
中央款	96.00
657.0	



都府折敷



厚一丈八分

學堂院軌 轉輝式



大宰府 推古記
都督府 天智
鎮西府 聖武
外箱 清和

1. 日本ハ物産の老成、及クヌ
 2. 材料、自製其平、並ラ原ノ木、
 3. マニテア材料等ハ日人化セシ
 4. 職人ガハマケス、コトモ、ナリヤ
 人ノ家内
 コトハ野ニ依五ヒコトシ、其ノ又
 何ニテ重ト大業カレ、
 2. 整理
 コトモ、職ハタシ、且ハ職人、
 操シセントス、コトモ、カ、
 5. 書院等ヲ其ノ例ト見ル
 6. 産物共々職人ニ遊ヒコルハ勿論、
 1. 材料は、自製其平、並ラ原ノ木、
 2. 材料、自製其平、並ラ原ノ木、
 3. マニテア材料等ハ日人化セシ
 4. 職人ガハマケス、コトモ、ナリヤ
 人ノ家内
 コトハ野ニ依五ヒコトシ、其ノ又
 何ニテ重ト大業カレ、
 2. 整理
 コトモ、職ハタシ、且ハ職人、
 操シセントス、コトモ、カ、
 5. 書院等ヲ其ノ例ト見ル
 6. 産物共々職人ニ遊ヒコルハ勿論、

冷靜ニ考ヘヨ

洗滌

ノ世に洗ハレテ居ルモノハ其ノ質
 2. 洗滌ノ世に洗ハレル
 1. 外國ノ世に洗ハレル
 2. 洗滌ノ世に洗ハレル
 3. 洗滌ノ世に洗ハレル
 4. 洗滌ノ世に洗ハレル
 5. 洗滌ノ世に洗ハレル
 6. 洗滌ノ世に洗ハレル
 7. 洗滌ノ世に洗ハレル
 8. 洗滌ノ世に洗ハレル
 9. 洗滌ノ世に洗ハレル
 10. 洗滌ノ世に洗ハレル
 11. 洗滌ノ世に洗ハレル
 12. 洗滌ノ世に洗ハレル

支那、爪哇、波多、

東京 | 北京 | 曲阜 |

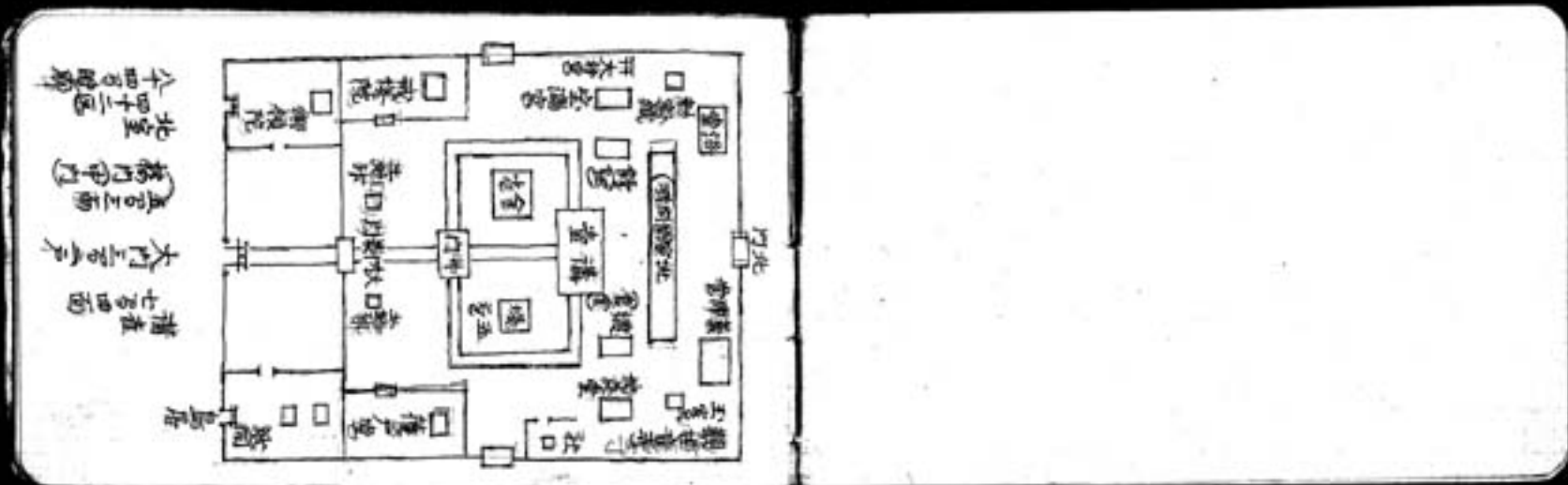
南京 | 上海 | シンガポール |

爪哇 | シンガポール | ベナン |

コロンボ | ホンバ | バスラ |

バグダッド | テヘラン | イスタハン |

フシイア | ホンバ | 日本 ●



塔寺分图



創立天智四年、天平十八年竣工
 仍冷泉天皇至康平七年卷上
 再建治曆二年
 康治二年塔卷上

筑前、浮羽郡千早村、若狭八幡宮の
日ノ岡、月ノ岡、マツノ岡、

(赤子) (四)

日ノ岡
群山石柳内、三ノ月、口、山、
アサギマシ

日ノ岡

石柳、赤銅鏡、帯金具、刀直刀

石柳、赤銅鏡、帯金具、刀直刀、
入ルベシ、壁、三ノ月、口、山、

石柳、赤銅鏡、帯金具、刀直刀、

アサギマシ、
アサギマシ、
アサギマシ、

宣化ノ時此等官家トアリ
大寺ヲ存推テ時也

福園館（三）三宅村之
三宅ニ当ル

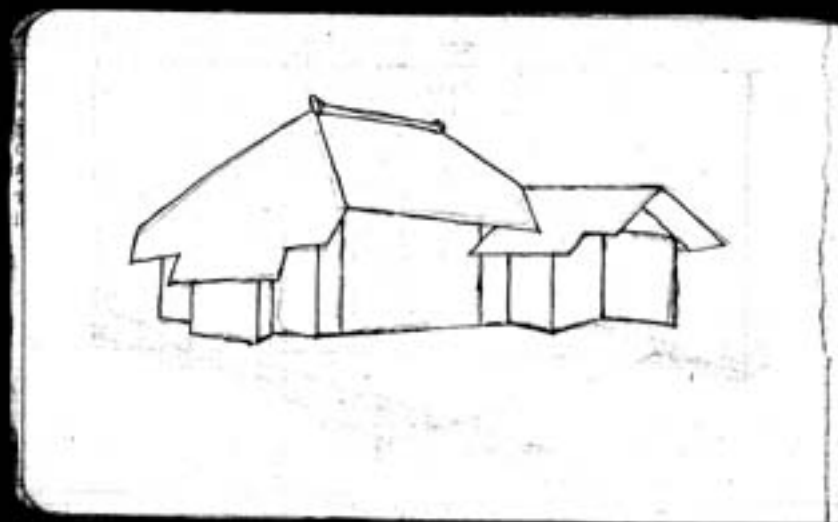
福園ヨリ一里許

コレヨリ十町福園ノノキ町岩波ハ
齊ハ天白王ノ上陸ヲトモ（高野）

福園ヲ朝倉郡宮内村後川

ハ行ハ三三三三三三

福園ヨリ十三四里



△古ク、衣食住ニ云テ生業ノ三要素ナリ

△衣食住ノ中、衣食ハ生業ノ本質ナリ

△衣食ノ中、食ハ生業ノ根本ナリ

△衣食ノ中、衣ハ生業ノ要諦ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ保障ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ基盤ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

△衣食ノ中、住ハ生業ノ命脈ナリ

繪画ナリト画家、作テモコイ、汝ノ得意
トスル所ヲ描ク其ノ上ニ注文シ得
又通弊リ注文シソノ關係ハ作家ニ任
スルヲ得。

建築師ハ行カズカテ母マデニ考案セヨ
トハ亦又ト難イ。

今度モ何カイハカクワクワロリト注文シ得
後モ何カ都合の事モナク注文シテモイ

貧ハ今ヨリマズイヒラウ食チ不平等ナリ
コイ物ノ食チ満足スルヲ出スル

衣ハ今身ヲツラガ丸ノ入ラバ何年別ノ作ル
トモ出スル

縮ハ何カイハカクワクワロリト注文シ得
出スル

建築師ハ今年送ワツル氣ノ入ラニトテ改
進スルハ如何ニシテイ

マツク出スルトテタキコフスイセ出スル
何カイハカクワクワロリト注文シ得

ガカリ、時言ガカリ、考案、修繕
其苦心ヲ要スルカチ進中ナリ急ヤ急ヤ

食トテモ此ノ大ニ異ナル
下及送り扱ヒテトトリカヘシコトナリ

コノ世ノ不幸ナリトイ

コノ不幸ニ逢ハス様、象ノ出来扱ハチ本
家、不自由、不便、不経済、不愉快ナリ

忍ビテ住マシ居ル人カイヤモロ

コノ世ノ不幸ナリトイ

コノ不幸ニ逢ハス様、象ノ出来扱ハチ本
家、不自由、不便、不経済、不愉快ナリ

忍ビテ住マシ居ル人カイヤモロ

コノ世ノ不幸ナリトイ

コノ不幸ニ逢ハス様、象ノ出来扱ハチ本
家、不自由、不便、不経済、不愉快ナリ

忍ビテ住マシ居ル人カイヤモロ

コノ世ノ不幸ナリトイ

コノ不幸ニ逢ハス様、象ノ出来扱ハチ本
家、不自由、不便、不経済、不愉快ナリ

忍ビテ住マシ居ル人カイヤモロ

コノ世ノ不幸ナリトイ

世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、
世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、

世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、
世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、

世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、
世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、

世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、
世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、

世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、
世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、

世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、
世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、

世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、
世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、

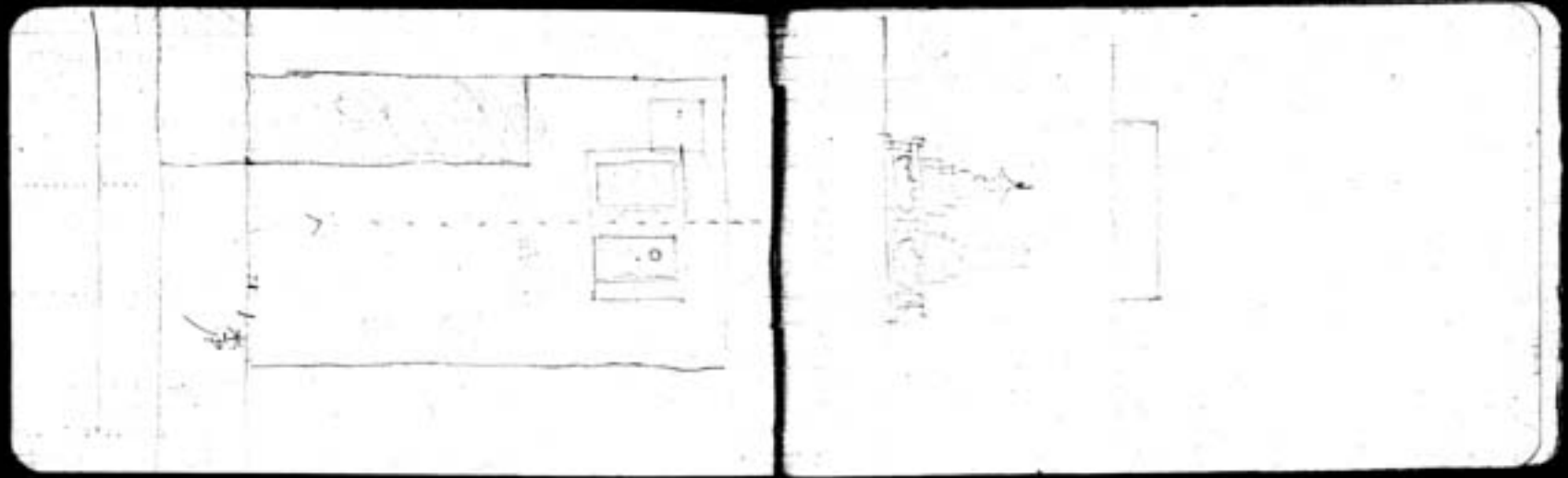
世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、
世に流るるもの多し、人々も亦、其の流るるに
随ふべし、然るに、自ら身を正すべし、

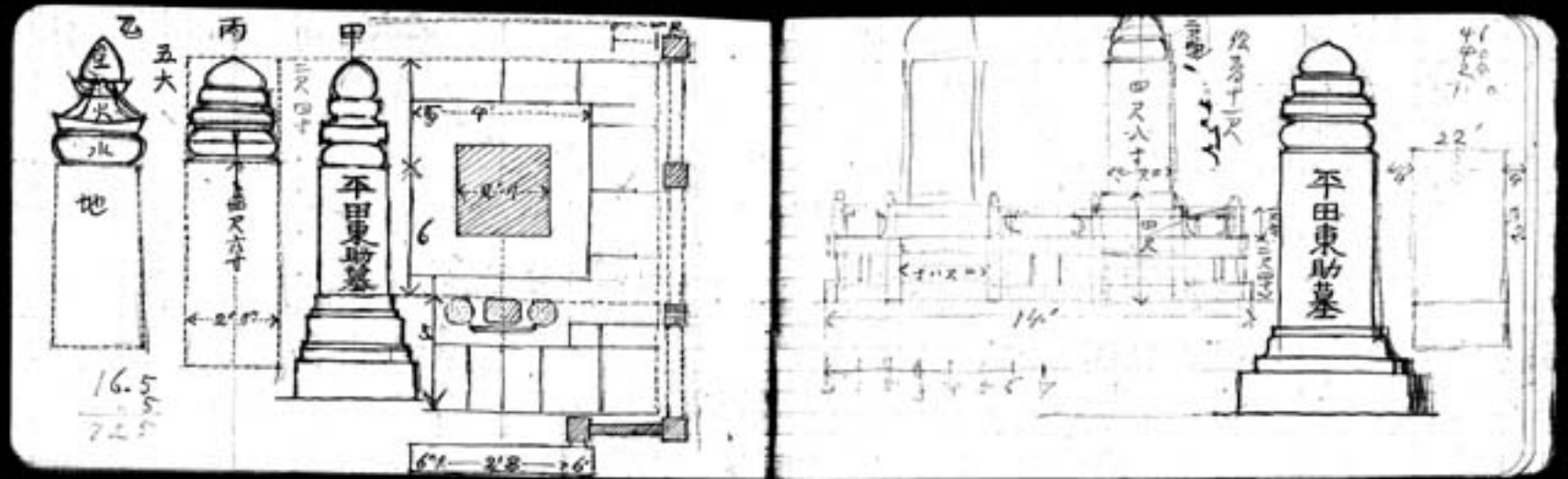
諸君は白濁の海に浮れりて其の
 眼を環視せしむる多ク其の
 今も其の諸君の故に浮れり
 琉球の久居の地一帯に南緯一五度
 首里王城の向野
 特建の宮一殿未
 死者に見ればモイタシ
 内苑より出るとハ其の故に寺に出入
 跡に面白キモ多ク其の故に其の故に
 周布に相対ハ其の故に其の故に
 知ラスと云ふハ史蹟トシテ其の故に
 掘、碑等ニ其の故に其の故に
 伊弉諾トシテ其の故に其の故に
 諸君は其の故に其の故に其の故に
 今夕ハコトク中休ヘシク出流シタリ

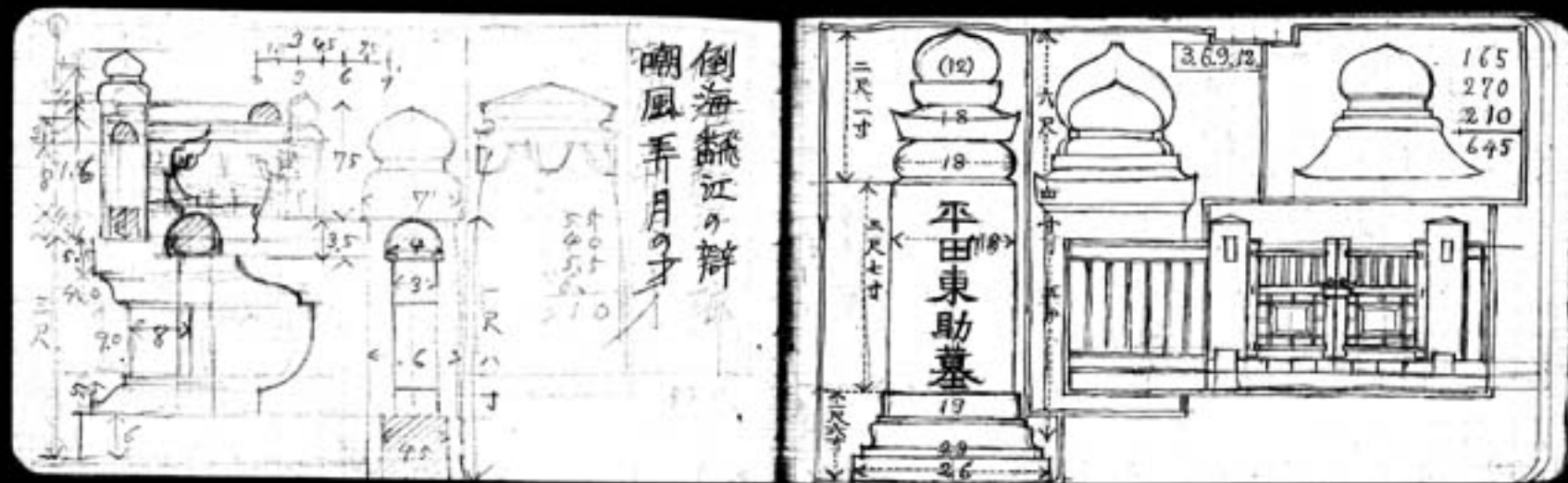
大正の文化の発展

- 一、美術文化の発展
- 二、音楽文化の発展
- 三、文壇の発展
- 四、文学の発展
- 五、建築の発展
- 六、文壇の発展

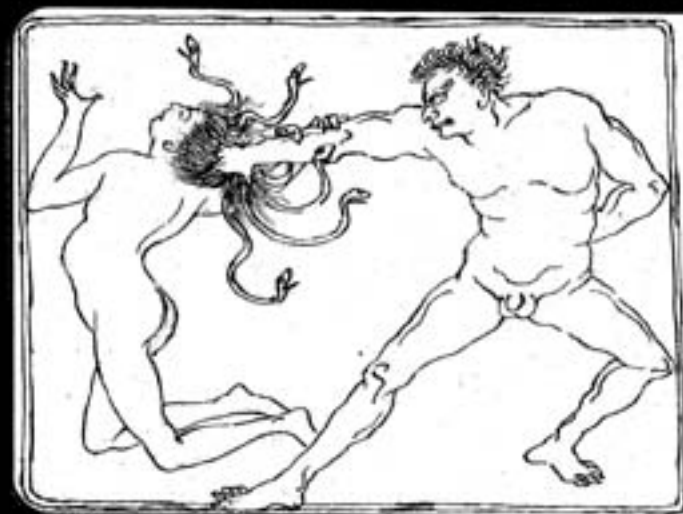
- 一、建築
- 二、文壇
- 三、音楽
- 四、美術
- 五、文学
- 六、文壇













説教節

義大丈——中節(元祿)——河東

豊後節——常盤津(元文)——

富本——新内(延享)——

(寛延)

Margus

印度産

鼬の類 一尺位、尾モ一尺余
渡邊氏将東、十数年前

ハワイ、米多ニテ、空ロヲ苦シシ
取シマリス苦メリ

動物と人生、宮島氏著





右(天田)

清人昆吾久松野崎
浪子色南元町

南陽寺

女官三元町、徳長寺、福宮

○ 妙法蓮華新説

○ 善徳とてその道徳

○ 一皮剥片は

一皮剥片は

一皮剥片は

一皮剥片は

○ 易に記れ

易に記れ

10.13
1.10

あしきよ
ハク南ミヤ
西尾元
尾



丸
土呂
中
丸

9月	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6	陸写(時)								
日	7									
	8									
	9									
	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									
	31									

10月	1									
	2									
	3									
	4									
	5									
	6									
	7									
	8									
	9									
	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									
	31									

坂仲輔 堀田正逸 七、四
 田中董 手山松治 七、三五
 五重塔(三十三) 長野純死 六、三一
 一、欄外(雲出火) 五三塔
 二、震災の例と又理由(南の塔)
 三、心柱ノ性質、塔の目的(平井)
 四、心柱ノ沿革(利ノ部東部を以)
 五、東寺塔の死録
 六、日光、浅草の例

一序

一藝術ノ要因

1. 内因

2. 国民

3. 外交

一藝術ノ性格

2.1. 精神性、形式、

2.2. 社会性、内容、

一建築

一繪画、八重山ニ奈良風俗、

一彫刻、奈良、奈良風俗

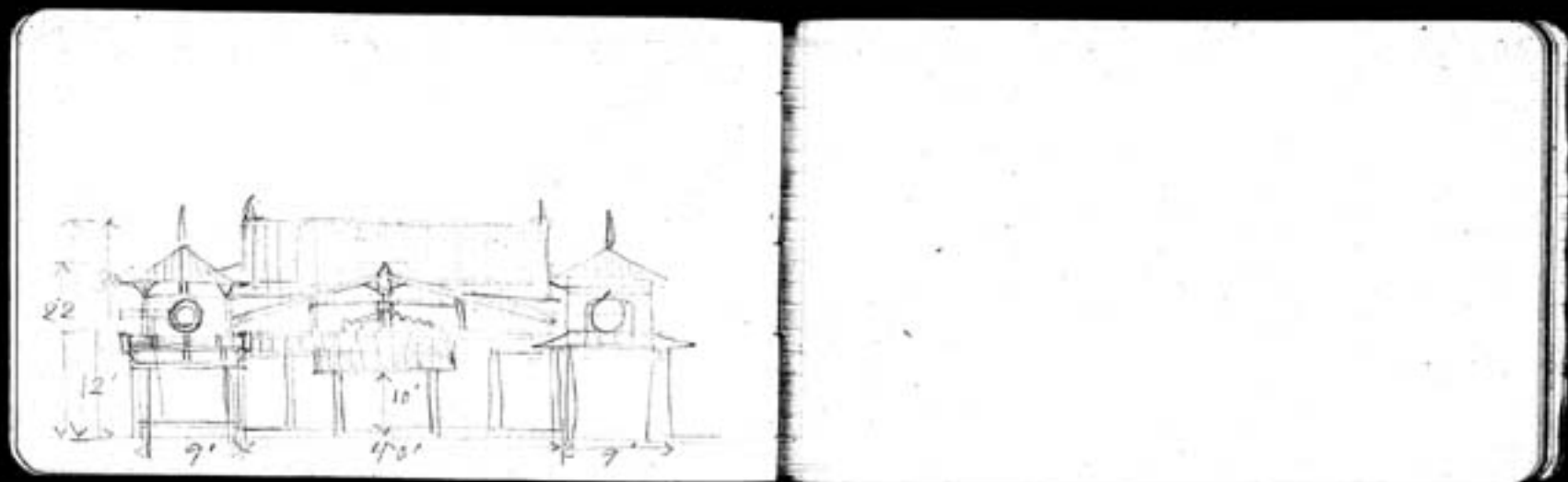
一漆、文様、色、気分、

友禪ノ様

一漆

一結論

自ラニ派ヲ入ス、



下層は、在りて、上層は、在りて、

下層は、在りて、上層は、在りて、

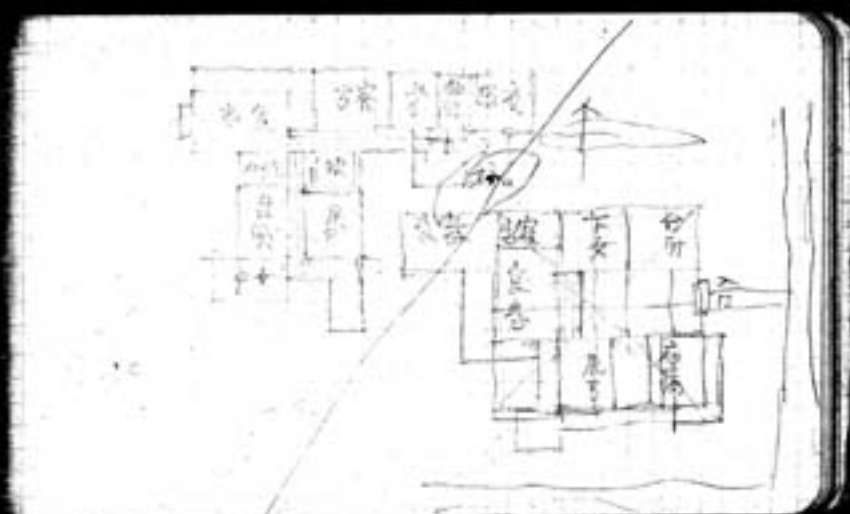
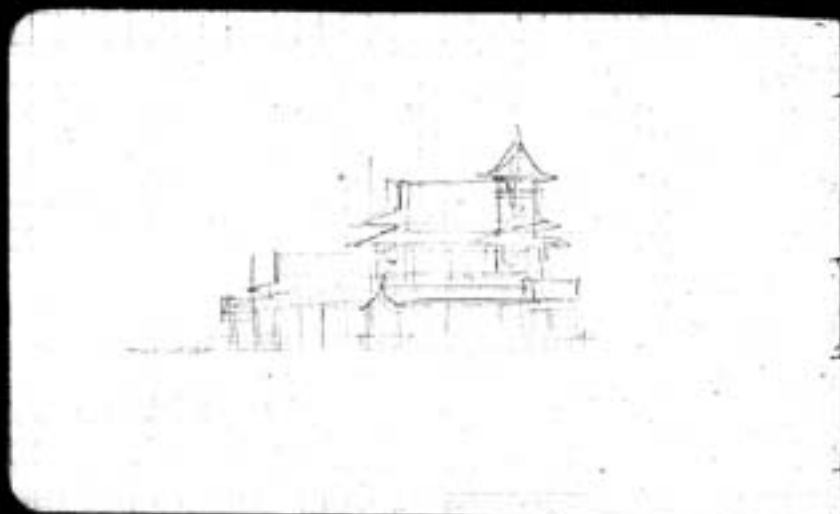
下層は、在りて、上層は、在りて、

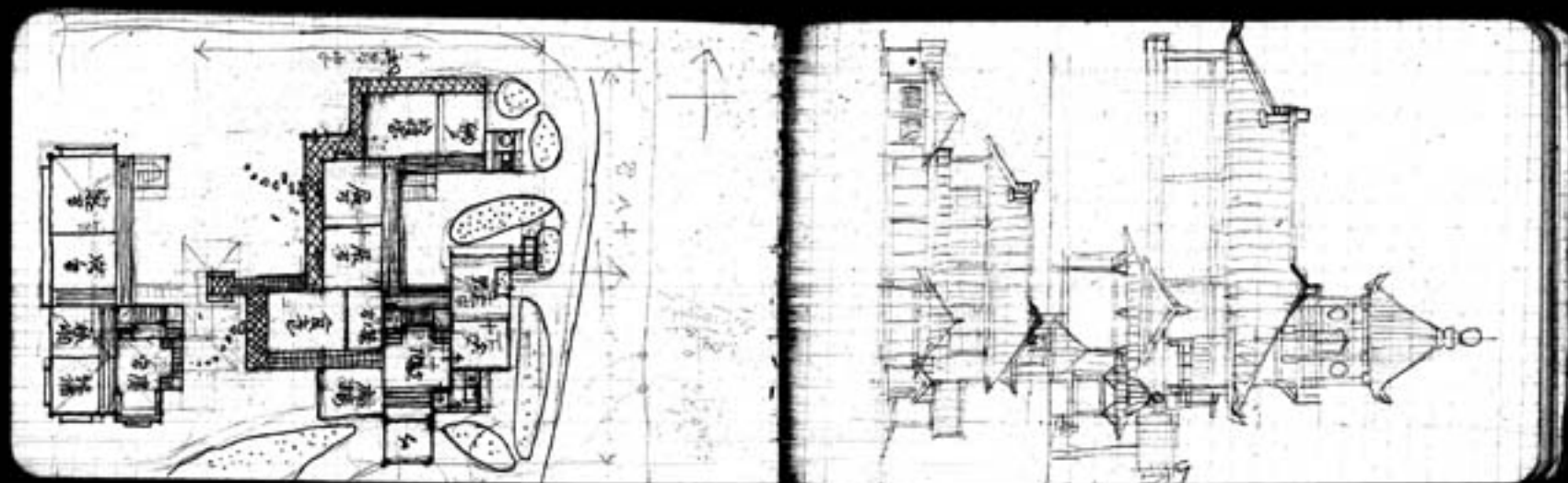


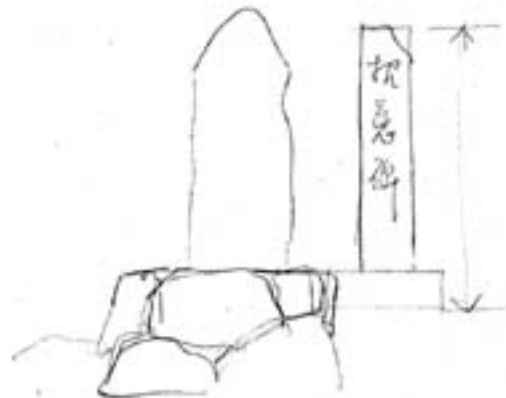
南北十七マ
東西二十マ

田中島
風八市東北多
冬八西北風多









① 埃及 25 西画 15 多様性総論 25 希臘 45	110	④ 獨ゴシック 15 15 伊ゴシック 15 15 Renaissance 10 伊ルネ 45 45	15 15 15 15
② ロトラスカン 10 羅馬 60 初期基督 15 ビザンチン 25	110	⑤ 仏ルネ 225 英ルネ 225-110 獨ルネ 220 沖十九世紀外史	225 225-110 220
③ ロマ子37 30 ゴシック総論 25 仏ゴシック 30 英ゴシック 25	110	⑥ 二十世紀運動 } 110 25 各国ノ例 } 30 30 日本 } 40 40	15 25 30 40

18 新成 18 -20+20 40

19 新成-平塚 15 -10+ 45 55

20 平塚

21 平塚-南塚 5+10 25

22 南塚-大塚 5+15 20

23 大塚

24

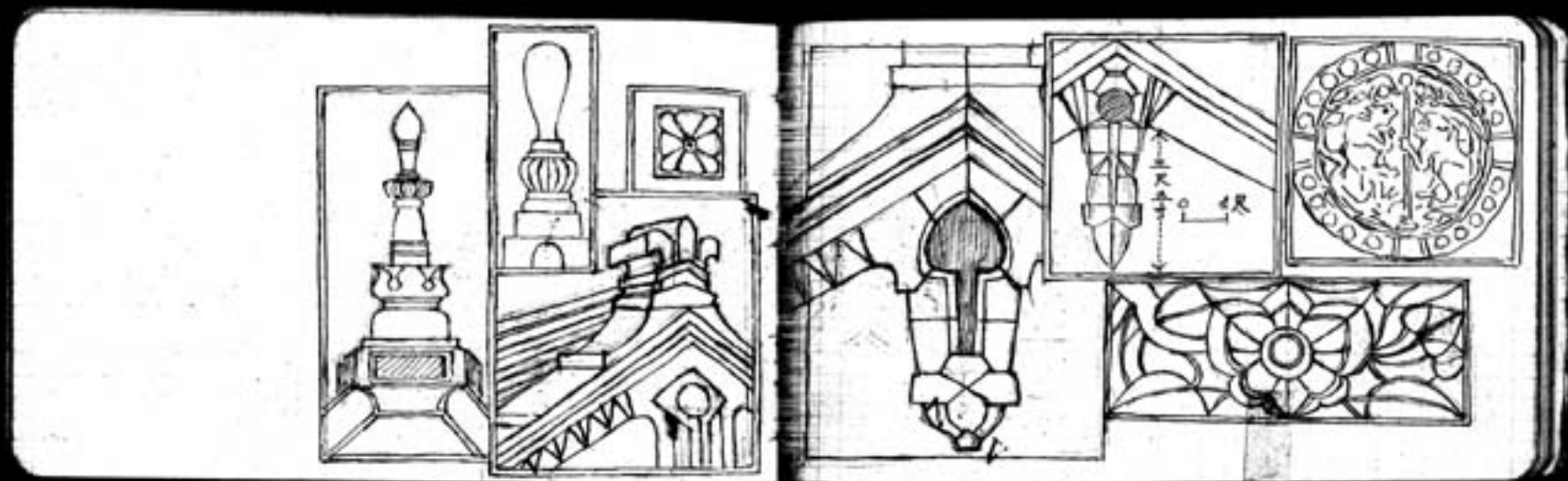
25

26 大塚-倉山 20+10 30

25

↑ 十尺

美田幸村



山松陽書院
鄭荃周二印完



南大町
南敷(松都)
大元至正六年
漢陽寺
古蹟
門外李新寺
三寺

- 10 五上院
- 11 五城廟
- 12 吳代系
- 13 兩城往後
- 14 鎮北安
- 15 溝渠台
- 16 大城一系城
- 17 城內, 安東, 新及洲, 平壤
- 18 平內及古蹟
- 19 古蹟
- 20 李顯宗一大印區一殿
- 21 慶台內外
- 22 仙園寺八往後
- 23 慶台系一廟一東萊
- 24 東萊一山夜萊
- 25 朝下廟一坊園往後一殿下廟
- 26 古蹟下台一和
- 27 早朝
- 28
- 29
- 30
- 31

歌辭卷八
一塔付尺三十七寸五分

善光寺
善光寺塔
善光寺碑閣

善光寺
成均館(文廟)

滿月寺(高麗王宮跡)

龍井

同機部

野陵太祖陵洞 廿西面

封土(石風云)十王(石)

墓

文石

陵碑

紅箭門



丁字閣

碑道碑

墓

墓

長照燈

附(夫角穴)禮

參奉室(陵守)

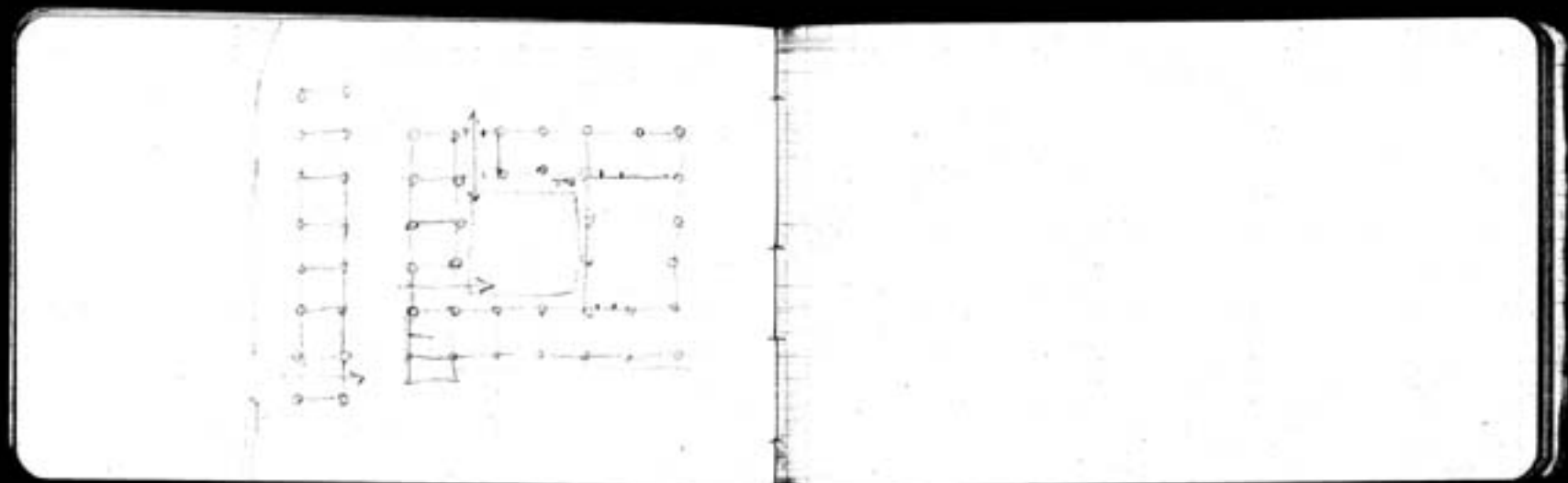
守候室(附屬)

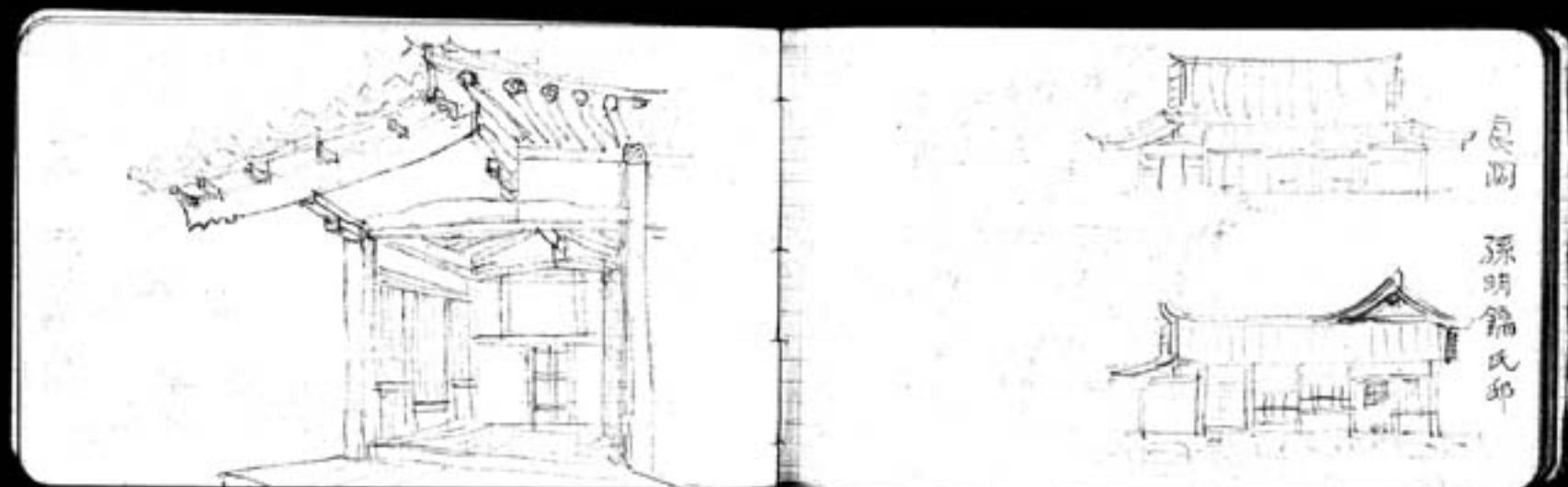


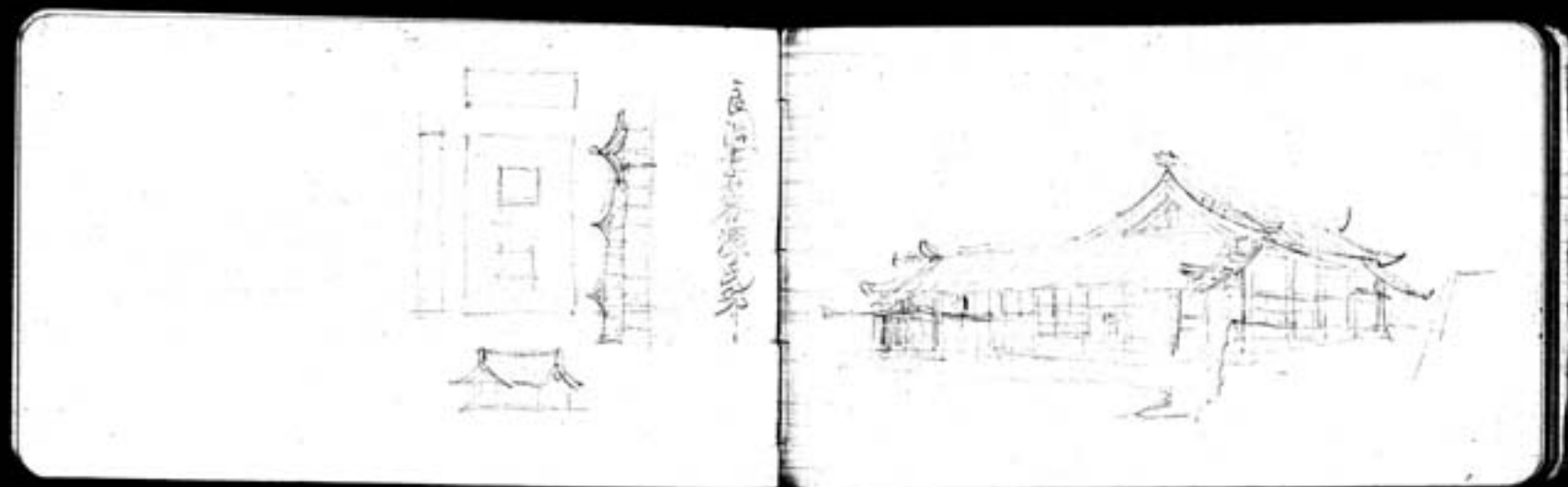
コ外巻綱
太座以下の
諸陵アリ。

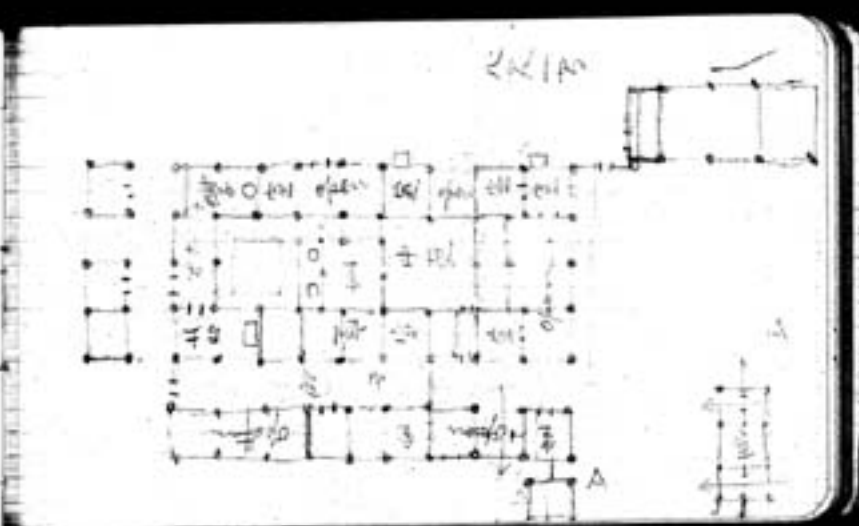


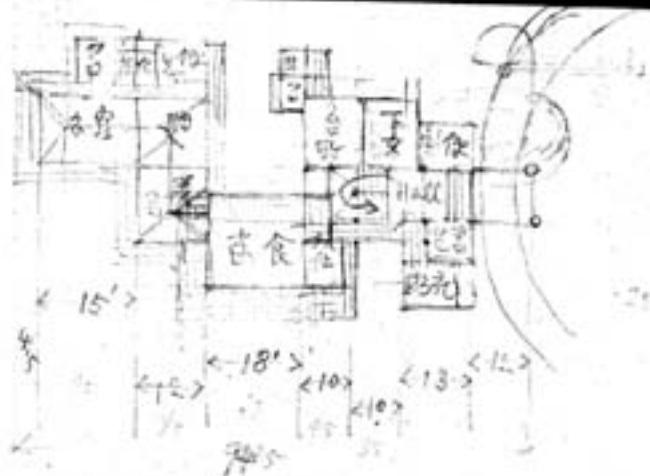
東九陵
經秘陵(即六祖) 素庵
紅箭門(紅門)



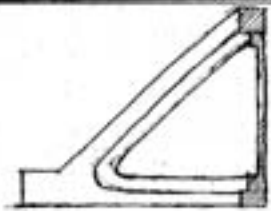




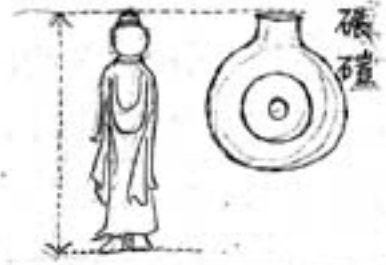




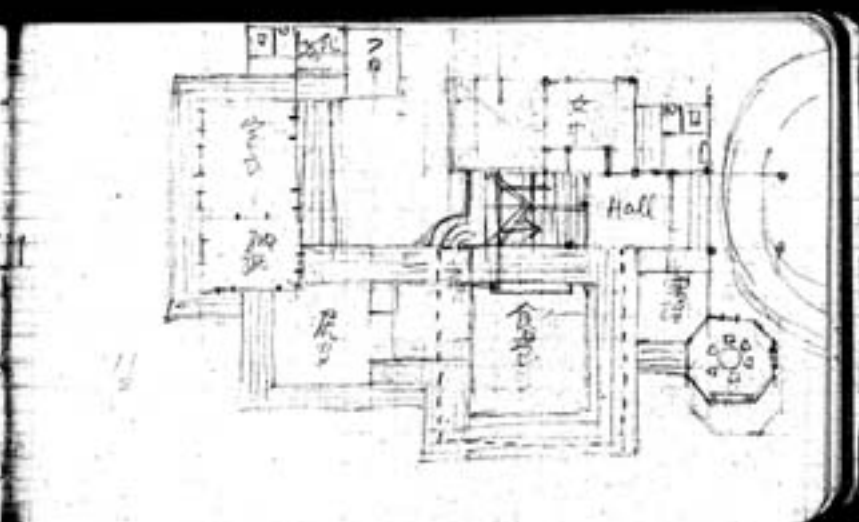
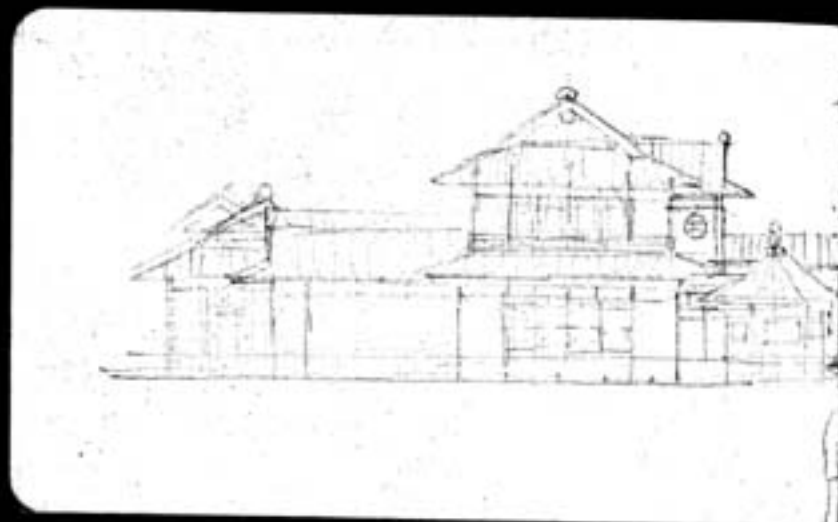
廣東共道 廣東 廣東 廣東 廣東
 顯天十八丈徑
 忠清南道 論山郡 恩津 孫勤
 金羅北道 金提齊 金山寺 孫勤
 洪表宗



仙童子
 大羅殿階



破磬



女飛球、蓮花寺

一、唐土

二、日土

三、国史

四、歴史

五、外国との交渉

六、天竺時代の文化

七、原形、蓮花寺

八、今、蓮花寺の建築

九、近代の建築

十、蓮花寺の建築、小規模

十一、蓮花寺、蓮花寺

十二、蓮花寺、蓮花寺

十三、蓮花寺、蓮花寺

十四、蓮花寺、蓮花寺

十五、蓮花寺、蓮花寺

法隆寺式

高麗寺、慶寺、陸子

新治、慶寺

新白、慶寺

新白、慶寺

新白、慶寺

新白、慶寺

法隆寺式

法隆寺式

Alfex III Andai



K & Managuti

○最近ノ建築第美ヲ對スル感志

○新古ト美觀トハ波文尙

○古建築第ノ美大

○原建築第ノ美大

○新建築第ノ美大

○美觀判斷ノ不の純一性ヲ視

○大極ハ一ニ歸ス

○建築第美大ノ西女モ亦

○コノ西女モ亦ノ何レカニカヲスル、後ヲ

ツノ表現力ヲ失ナルニ定テハナイ

○ドレカヲスルカハ人々ノ境遇、心理、

趣味、ミヨル、外ヨリ干渉出来ヌ

○コレヲ了解シテ人ノ要求ヲスラ

解ル者ノ建築第

○コレヲ知ラサル者ハ吾人

建築第ノ西の美

目的ニ適ラズ(物質的ニ善

美、精神的ニ善

美、美的ニ善、美的ニ善

一、材料(木)

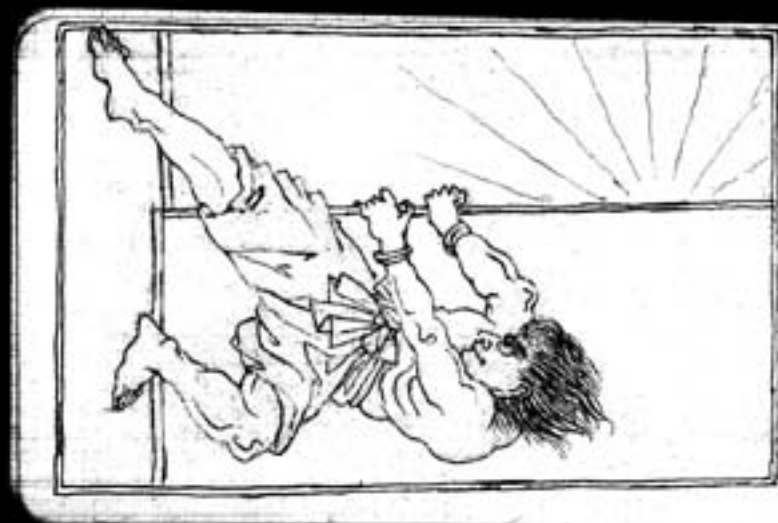
二、構造(木)

三、指造(木)

四、彫刻(木)

五、彫刻(木)

六、



明治建築史

- 一、序 二
- 二、日本建築の第一期 三
- 三、時代通観 三
- 四、純日本建築 三
- 五、欧米建築 三
- 六、欧米建築移植時代 三
- 七、欧米建築模倣時代 三
- 八、覚醒時代 四
- 九、現代 五
- 十、結尾 三

三十三版



非社の意義

一 大社の儀

皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、
皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、

二 大社の儀

皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、
皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、

三 大社の儀

皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、
皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、

四 大社の儀

皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、
皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、

五 大社の儀

皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、
皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、

皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、
皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、

六 大社の儀

皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、
皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、

七

皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、
皇朝の御代に於ては、大社を以て、水田を以て、

のまはまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

。

日まはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

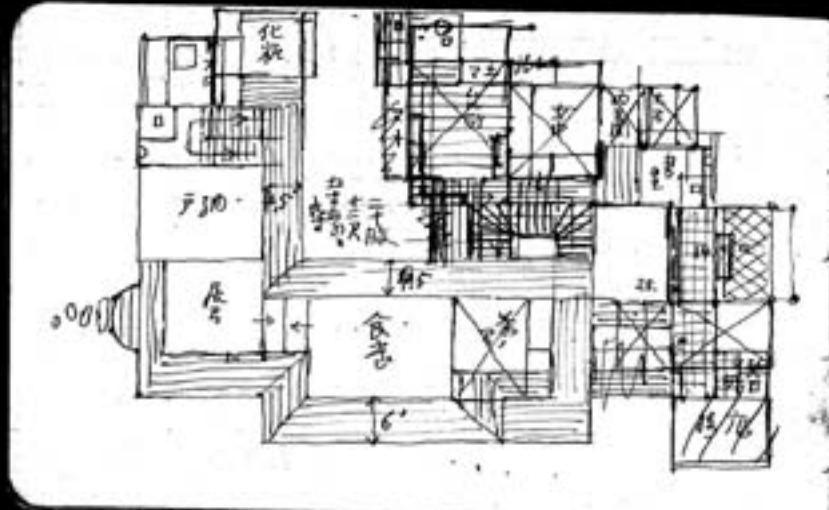
あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

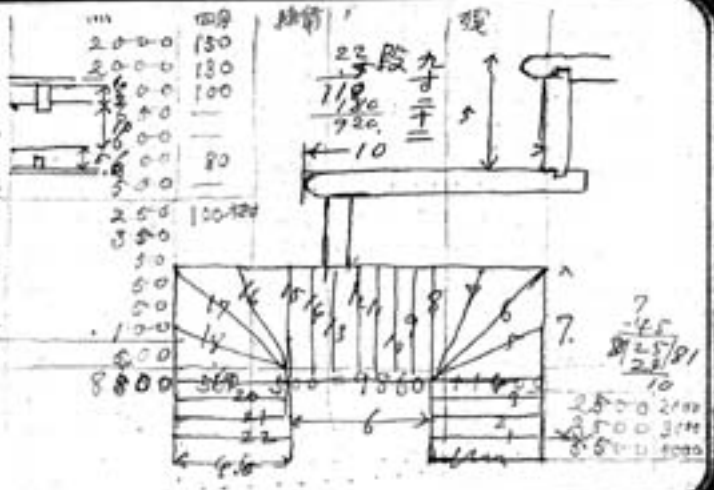
あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま

あまのまはま、あまのまはま、あまのまはま



柱と梁の断面は別紙に示す
 柱の断面は、
 梁の断面は、



乙 甲
乙 田 甲 乙 甲 乙
一 雄 崎 一 雄 崎
武 雄 約 雄 崎
御 田 堀 堀 四 反
野 青 林 村 新 伊

長 保 領 長
田 田 西 西 乙 乙
乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙
乙 乙 乙 乙 乙 乙 乙

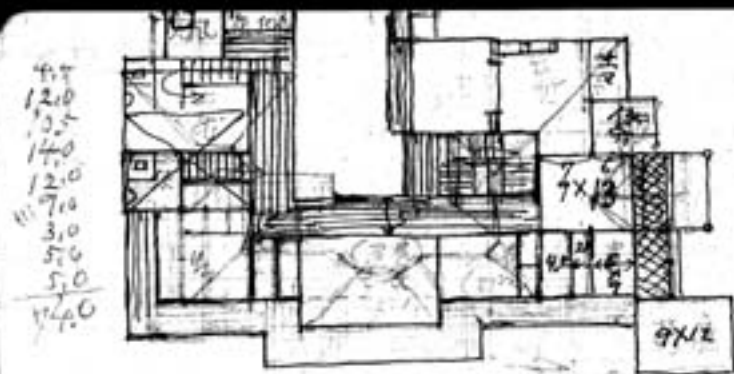
三 年 三 年 三 年 三 年
武 雄 二 雄 二 一 走 雄 文 文 作 助
山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山
好 好 好 好 好 好 好 好 好 好 好 好
三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田
目 目 目 目 目 目 目 目 目 目 目 目
三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

全口中火天 読書率	天火取	毎年の一万七千回
大 1 709.985	18.054	毎年の七十万回
2 1227.650	18.059	一回に付 四十餘回
3 617.746	17.883	毎日子 四十回
4 562.164	16.475	毎日子 四千八百九十回
5 510.841	16.238	失火
6 688.956	19.012	人口五万 一十万户
7 602.363	13.461	一日一回 火災

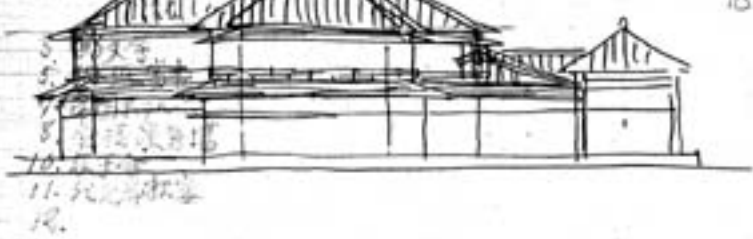
人口五万 一十万户
 人口五万 一十万户
 人口五万 一十万户
 人口一百万 五十万户

三年 論文	眼 睛	80	建築士	伊 波
海 迎 野	新 年 運 算	75	—	70
元 田 裕	住	80	—	65
奥 戸 大 氏	新 年 運 算	75	—	70
千 束 天 秋	家 計 開 示	75	—	65
里 崎	新 年 運 算	75	—	70
土 岐	小 学 校	75	—	60
澁 野	口 外 運 算	85	—	80

寺 田	大 村	高 橋	大 二	高 橋	武 永	川 畑
—	70	—	—	—	—	—
—	60	—	—	—	—	—
—	70	—	—	—	—	—
—	70	—	—	—	—	—
—	70	—	—	—	—	—
—	80	—	—	—	—	—
—	70	—	—	—	—	—
—	65	—	—	—	—	—
—	70	—	—	—	—	—
—	75	—	—	—	—	—
—	80	—	—	—	—	—



二月日程
 中央美術展覧 六日行 14 枚位
 現代美術展 十三日行 5 枚位
 科学知識展 十三日行
 全原稿 二日行 40 枚位
 南台演 二日行 10 枚位



現代) 猿腔の心

109896593 21

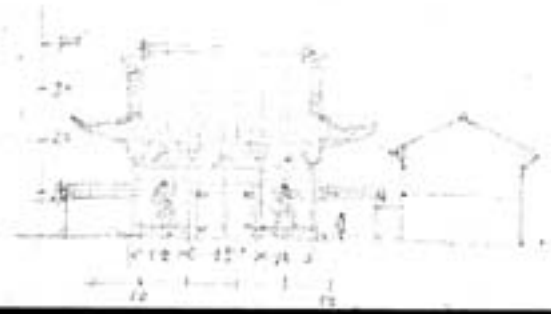
六

...
...
...
...
...
...
...

1 高価	100 以内 (様)	15. 元信 贖 (美但似)
2 中価	100 内外 (注)	16. 志譽 三幅 (!)
3 探幽 (抄)	(船尾)	3000-3000
4 大雅堂 (!)		17. 中流 三幅 (!)
5 拙画	150-	300
6 土着 (幅)	200	
7 一件 具 (!)		
8 一件 画 (!)	100	
9 元價 田村 (22)?		
10 一件 田村 (5)?		
11 田村?		
12 田村?		
13 田村 5幅 時	700	
14 色紙	200	

...
...
...
...
...
...
...

輝宗。 輝宗の墓。 輝宗の墓。 輝宗の墓。



由三ノ
長二身地
へル
七
新屋

14

1000
1000
600
200
100
400
200
30
200
3600

15

1000
1000
1600
3600

16

4000
2000
600
100
300
200
100
10000

電
線
工
事
費
用
等
類
の
計
算
等

全三

全二

- 一、電線
二、電線
三、電線
四、電線
五、電線
六、電線
七、電線
八、電線
九、電線
十、電線



木子軫鎬 (慶長) (長門)

大命 沢田曲三丈 (慶長) (長門)

野米田井田下 (長門) (長門)

勢谷 多喜馬 (平北) (長門)

諸鹿史雄 (慶長) (長門)

朴光烈 (慶長) (長門)

岩井長三郎

生田清三郎 (内務局長)

42

廿八

石川半山

野暮武彦 (道長) (長門)

渡田哲友 (松平) (長門)

堀口康三郎 (長門)

Copyright 日本建築学会

太宰府

朝鮮
その他